

学校だより 7月 第4号
平成30年6月29日発



おおやば

さいたま市立大谷場中学校
〒336-0016
さいたま市南区大谷場2-13-54
TEL 048(882)9962 FAX 048(811)1336
URL <http://oyaba-j.saitama-city.ed.jp/>
MAIL oyaba-j@saitama-city.ed.jp

ウサギとカメ

3年生にとって引退のかかった中学校総合体育大会が、6月2日～6月8日にかけて、市内の各会場で繰り広げられました。大谷場中の熱戦の結果は、裏面をご覧ください。

大会中、全力を出しきろうとしている生徒の姿をみていて気付いたことは、球技であれば、どこにパスを出すか、どのボールをフルスウィングするか、どのボールに対してアタックするか…。その判断によって、試合進行の場面が暗転したり、勝利につながったりします。「一球のおもさ、一球のこわさ、そして、一球の素晴らしさ」を痛感しました。試合を観戦することは、とても疲れることだと知りました。

また、彼らが発する気迫や繰り出す技、切れ味鋭いフットワーク等は一朝一夕に身に付けたものではなく、顧問の先生方の指導を受けながら、一緒に苦しく、厳しい練習を重ねてきた仲間がいたから、自由自在に駆使できるのだと気付きました。多くの選手が、共に戦う仲間のため、ベンチで声を囁らして応援する同級生や下級生のため、観客席で手が腫れ上がるほど拍手で応援する保護者の思いに応えるために、最終のホイッスルが鳴るまで、力を出し尽くす姿をみて、スポーツが人間形成に大きな影響を与えることを再確認しました。

さて、県大会やその上の大会に進む運動部の生徒も、夏の終わりには、部活動を引退します。今まで掲げていた、市や県での上位入賞等という目標を、別な目標にかえなければなりません。人は目標をもつことで、集中できるし新たな一步を踏み出すこともできます。

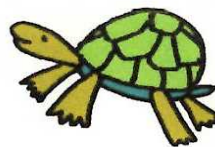
目的とか目標は、新しい年を迎えたときや新しい学年がスタートするときに意識します。でも、しばらくすると、話題にもならなくなってしまう場合がほとんどです。しかし、日々の活動の中で目的意識をしっかりとって行動したり、勉強したりすることは充実した生活をおくるうえで、大事なことだと考えます。イソップ物語に「ウサギとカメ」の話があります。石原 和三郎さんがこの話を童謡にして、多くの人が口ずさんでいます。

「もしもし カメよ カメさんよ 世界の うちに お前ほど 歩みの のろいものはない どうして そんなに のろいのか 何を おっしゃる ウサギさん それなら 向こうの お山まで どちらが はやいか かけくらべ…」

というわけで、ヨーイ・ドン。結果は、走る・跳ぶともに優れた実力十分のウサギがまさかの敗北。身体能力では、はるかに劣るカメが、万人の予想を裏切ったの見事な勝利。誰もが知っているウサギとカメのものがたり。

さて、この違いはどこにあったか…。

ウサギは、カメを見て 走った。
カメは、ゴールを見て 走った。



目標を立てればよいというのではなく、何を目標とするかが重要なのでしょうか。そして、目標が決まったら、たとえカメの歩みのように、のろくとも、着実に努力を重ねていくことが大切なのだという教えと理解します。間もなく夏休みが始まります。8月27日に振り返ったとき、「充実したいい夏休みだったな」と一人ひとりの生徒が思えるように、夏休みを過ごしてほしいと思います。そのためにも、どんな夏休みにするかという目標を、ご家庭でも一緒に考えてみてください。8月28日に、笑顔で元気あふれる生徒の皆さんとあえることを願っています。

(校長 はすみ さとし)